



2023年6月7日
株式会社 阿波銀行

ナカガワ・アド株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、ナカガワ・アド株式会社（代表取締役 中川 和也、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|----------------------------|
| 企業名 | ナカガワ・アド株式会社 |
| 所在地 | 徳島県美馬市脇町大字猪尻字若宮南 131 番地の 2 |
| 代表者 | 中川 和也 |
| 業種 | 印刷業 |
| 設立 | 2002 年 10 月 1 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年6月7日



ナカガワ・アド株式会社 代表取締役 中川 和也

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール |
|-------|----------------------------|--|--|----------|
| 社会・経済 | 地域活性化・産業振興 | 持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。 | ① 行政の産業振興事業への参画 | |
| | | | ② コミュニティ・人材の特色を活かしたイベント企画を年2回実施 | |
| 社会・経済 | 貧困・飢餓の撲滅 | 全ての人々が健やかに暮らせる社会の実現のため、相対的貧困や飢餓をなくす活動に取組みます。 | ① (1)「食と農をデザインする」あど畑事業部で、デザインによる農業や地域のイメージを一新 (2)キッチンカーを利用したPR・支援活動 | |
| | | | ② (1)印刷工房を利用した商品開発10件 (2)2025年までに食品廃棄物発生量を20%削減（2021年基準） | |
| 社会・経済 | 環境・人・社会・地域に配慮した「エシカル消費」の推進 | 地域の生産物や伝統工芸品の購入を心がけます。環境・人・社会・地域に配慮し、持続可能な社会を創るための活動を行っている企業の商品を購入します。 | ① 自社ブランド「VEGE HAPPY」により、徳島名産品を使用した商品の開発 | |
| | | | ② SDGsやサステナビリティ・サーキュエコノミーに配慮する企業の製品5件導入 | |
| 社会・経済 | 地元人材の活用および他県との人材マッチング | それぞれの会社のニーズに沿った人材マッチングができる場所、時間の提供を推進します。 | ① 一般社団法人「yohak」を立ち上げ、老舗印刷工場を活用したコミュニティの活性化による交流人口の増加、仕事の創出 | |
| | | | ② (1)旅人の受入 年500人 マッチング件数 年10件 (2)お試し起業応援 年2件 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。